

第2回 在宅医療・救急医療セミナー

高齢者施設の急変時に備えた対応を考える

【令和6年度 北見市在宅医療・介護連携推進事業、北見地域多職種連携チーム事業】

北見地区消防組合の調査によると、令和5年の救急出動件数7,580件中、高齢者施設からの救急要請は695件と約10%を占め、このうち約75%は中等度で入院加療が必要でした。また全救急要請数における心肺停止(CPA)事案の4分の1が高齢者施設からでした。高齢者は急変することが多く、事前の準備や発病の際の迅速な情報伝達が求められます。また本人の医療・ケアの希望の実現のため、緊急時の連絡体制や施設内の初期対応などについて医療・介護関係者からご報告頂き、関係者の皆さんと意見交換を行います。

日時

2024年11月22日(金) 18:30~20:00

場所

北見市役所5階 505会議室・入札室

対象

医療機関(医師、看護師、医療ソーシャルワーカーなど)
介護保険事業所等(施設管理者、居宅・施設のケアマネジャー、
介護職員、訪問看護師など)、行政職員、その他

定員

会場40名+オンライン100名(先着順) 参加費無料

内容

1. 調査報告：高齢者施設における救急対応やACP等の課題
北見市医療・介護連携支援センター 関 建久氏
2. 活動報告：高齢者施設における救急搬送の現状と課題
北見地区消防組合 消防本部 救急企画課 課長 今村 照正氏
3. 高齢者施設での取り組み
特別養護老人ホームにおける救急対応やACP等の現状と課題
特別養護老人ホームこもれびの里 施設部 渡部 寿美江氏
認知症グループホームにおける急変時対応の取り組み
グループホームふれやか 中島 めぐみ氏
有料老人ホームにおける救急対応やACP等の現状と課題
サービス付き高齢者住宅 オカリナ館 高橋 裕幸氏
4. 参加者との意見交換
報告者や本ワーキング会議メンバーの医師を含めて意見交換を行います
 - 高齢者施設における望ましい医療・ケアの意思決定の内容や方法とは
 - 入所者の急変時における施設内対応の現状と課題
 - 救急受け入れ医療機関と高齢者施設との現状と課題



急変時の施設内の対応は？

急変に備えた本人の意思確認

受け入れ医療機関の課題

開催主体

- 在宅医療・救急医療ワーキングチーム会議(北見市医療・介護連携支援センター)
- 北網保健医療福祉圏域連携推進会議 在宅医療専門部会 北見地域多職種連携チーム

申し込み

9/27(金)から11/18日(月)まで
申し込みURL (Googleフォーム)

<https://forms.gle/iFVzQDGz1AtJqzGo7>



お問い合わせ

北見市医療・介護連携支援センター
北見市中央三輪2丁目302-1
北星記念病院 内
電話 0157-51-1244

メール

kitami.medicare@nouge.gr.jp